

自分らしい
独立・開業
ENTRE

2014
秋号

<http://entrenet.jp/>

アントレ

1997年10月13日第三種郵便物認可 2014年9月27日発行(季刊3・6・9・12月27日発行)9月27日発売 第18巻第3号通巻172号

巻頭特集

先輩が語る
決断
ストーリー

未来をどう生きる? 40代から始める脱サラ・独立計画

わが仕事人生に 「やり残し」なし!!

独立老師が語る
40代からの「降りない」人生

独立に効く
商売勘の磨き方

家族で会社やってみた!

円満&おトクな! 退職→独立行程表

日本の老後を変える仕事



いくつになっても挑戦し続ける
人を奮い立たせる応援団長

山本寛斎「世界レベルは
普通じゃダメ」

会社員経験が生きる!
独立の選択肢67件

RECRUIT

リサイクル

読み終わったら
資源回収へ

あなたへのオファー2大特集

●トップが語る未来ビジネス構想

●先輩が語る「第二の人生」

最 初から他人と一緒にやる気はなく、昔から辛抱強かった長女に「会社やるぞ。お前も一緒にせえ」と言いました。娘もすんなり会社を辞め、建築士や宅建の資格を取ってくれた。私がプランニングや住宅ローンを担当し、設計、施工、現場監督は娘に任せる。そして、お客さんとの打ち合わせには2人で同席し、最大限に向き合おうと。ところが、最初の2年は全く受注できず、焦りのためか、怒ってばかり。そんな親父にも耐えて明るく振舞う娘にずいぶん救われていましたね。

開業3年目でようやくの初受注。そこからはお互い自分の仕事に必死でしたが、ふと、現場から帰ってきた娘の、泥まみれの靴が目に残った。その時、「涙ひとつ見せず、過酷な現場でよう頑張っている」と、愛しさがこみ上げました。他人だったら、ここまで我慢せん。とつくにやめとるでしょう（笑）。許し合えるのはやっぱり親子だからで、他人にはない信頼があるんです。それに、家は建ててからのお付き合いも長い。私が逝っても、娘にあと30年は任せられるので安心です。千尋は、意地っ張りで泣かない、かわいげのない娘。でも、こいつとだから、理想の家づくりができるんです。

家族の浮き沈み年表

辛
普通
苦

07年10月 「一緒に独立するぞ」と父が娘に宣言。会社設立の準備を開始

07年12月 独立。父はモデルルーム建設の準備。娘も資格取得の勉強開始

08年6月 モデルルームが完成し、展示場としてオープン

08年 仕事の受注ゼロのまま、老後の貯蓄を切り崩し、会話もなく焦るばかりの毎日に

09年6月 一方的に怒る父に、娘が「自分に何を求めているのかわからない」と手紙を書く。父も仕事が取れずに焦っていたことに気づき、自分を取り戻す

09年11月 娘の知人から初の受注。互いに必死で仕事し、一気に活気づく

10年4月 初案件の住宅が完成。「0から1になった」と感じ、希望が見える

11年 複数の現場を同時進行するほどに。住宅完成後、顧客から社名の由来「徳不孤必有隣」をラベルに入れた日本酒を贈られて感動

12年 娘が大工職人と結婚。結婚直前に些細なことで大ゲンカも。結婚後、娘婿も会社に加わる

親子で住宅会社

株式会社
ユーリン・ホーム
岡山県倉敷市

中井勝人さん(64歳)
片岡千尋さん(32歳)

中井さんは総合結婚式の支配人、家具会社役員などを経て、40歳で住宅会社に転職。トップセールスの営業として活躍した後、「営業から工務まで一貫した家づくり」を目指して独立を決意する。千尋さんは新聞社に3年間勤務し、校正や取材を経験。2007年、独立。

「他人だったら、とつくにやめとる（笑）」
ケンカしても、娘なら理解してくれる

Q 千尋さんに質問

「親が上司、しんどくない？」

A 2人だけで独立するとは思ってなくて、話が違ふなと（笑）。一方的に怒るばかりの父に「やめておけば良かった」と思ったし、現場も慣れるまでつらかった。でも、「最後はオレが守るから、お前の仕事はお前に任せる」と一切口出しせず見守ってくれて。母に面倒をかけてばかりの飲べえな父でしたが、仕事には誠実で度量も大きいとわかり、今では尊敬しています。